

# 現職者共通研修（Zoom 開催） 「事例検討・報告会」のお知らせ

【日 時】 令和4年11月17日（木）19:00~21:00

【対 象】 大阪府作業療法士会会員（今年度分の年会費納入の方）

【参加費】 無料 （報告・検討・参加）

【申 込】 下記のQRコードまたはメールにてお申込みください

（宛先）三島ブロック事例検討・報告グループ 宛

（mail）otr-3shima@hotmail.co.jp

（件名）令和4年11月17日（木） 現職者共通研修

（内容）①氏名（ふりがな）

②日本作業療法士協会 会員番号

③所属施設

④所属領域（身障急性期・回復期・生活期・老年期、精神、発達、その他）

⑤連絡先（連絡先E-mail）と（当日連絡可能な電話番号）

⑥参加希望項目（事例報告・事例検討・参加）

\*事例報告の方のみ：⑦仮題 ⑧キーワード3つ

【× 切】 報告者(報告書提出) 10月6日（木）17:00まで

\*人数が多い場合は締め切らせて頂きます。

検討・参加者 11月3日（木）17:00まで



（発表要領）

発表形式：パワーポイント使用しての口述発表（写真使用は可。動画は不可。）

発表時間 10分以上 質疑応答 5分以上

報告書（抄録）作成→A4 3枚（文字数別紙参照）

演題名・所属・氏名→MS 明朝 太字 11pt

本文→MS 明朝 10pt

日本作業療法士協会の“事例報告書作成の手引き”を基に作成

<https://www.jaot.or.jp/files/page/wp-content/uploads/2010/08/tebiki-Ver9.0.pdf>

## 連絡事項

- 報告者はパワーポイントを使用しますので PC でのご参加をお願いします
- 申し込み時、研修会当日連絡が取れる連絡先および Zoom 使用端末のアドレスの提示をお願い致します。  
(当日不具合発生時等に連絡させていただくことがあります)
- 研修 1 週間前を目途にメールで Zoom の ID・パスワード、報告書(抄録)添付をご連絡いたします。  
(研修 3~4 日前に届かない場合はお問合せください)
- 添付資料、ID・パスワードは決して外部に漏らさないようお願い致します。
- オンライン研修ですので、通信費が発生します。
- Zoom アプリがよくわからない方、府士会ホームページ  
「Zoom を利用した Web 研修・会議の参加マニュアル」をご参照ください。
- 参加方法(受講方法を選択して下さい)  
報告：現職者共通研修 事例報告修了  
検討：現職者共通研修 事例検討修了  
参加：生涯基礎ポイント 2pt 付与

## 事例報告書(抄録)の記載内容

【報告の目的】(200 字以内で入力) 事例報告の目的を述べてください。報告の目的にそって論点を絞り、介入が長期にわたる事例の場合はある一定期間に限定して報告する、種々の問題に介入した場合は標的問題を中心に報告する、などの工夫をしてください

【事例紹介】(600 字以内で入力) 年齢、疾患名、既往歴、現病歴、作業療法の対象となるまでの経緯、社会的背景など、本事例の作業療法方針に関連する個人因子と環境因子について述べてください。

【作業療法評価】(800 字以内で入力) 対象者の標的問題(4. 「用語の説明」参照)を中心とした評価(問題点、潜在能力、経過予測)を述べ、介入前の障害像、特に報告の目的に関わる主要な問題点を呈示してください。観察評価を中心におこなった場合には、観察の視点、観察された事実情報を具体的に記述してください。

【介入の基本方針】(200 字以内で入力) 作業療法介入の基本方針(「用語の説明」参照)について、目標あるいは目的達成のために、どのような方針で作業療法を進めたのかを具体的に述べてください。いくつかの基本方針を順次進める場合と、同時進行させる場合とがありますが、いずれも基本方針が複数にわたる場合にはわかりやすい記述に努めてください。介入にあたり作業療法の実践モデルがある場合には、モデルや理論の名称を記載してください。

【作業療法実施計画】(600 字以内で入力) 作業活動(実施課題)、実施形態(個別、集団、訪問など)、実施頻度(1 回時間、週あたり回数など)、実施期間など、作業療法士が「何を手段として」「どのように」関わったのかがわかるように記述してください。また、作業療法に用いた作業活動(課題)の選択理由、利用・活用方法、指導・援助の方法など、目的達成のためにどのような意図をもって作業療法を実施したのかがわかるように述べてください。

【介入経過】(1000 字以内で入力) ここで必要な内容は「どのような経過」をたどったのか、ということです。経過が長い、あるいは介入項目が多い場合は、期間をいくつかの「期」に分け、介入項目ごとに整理するなどして聴講者に伝わりやすい表現を工夫してください。対象者に変化を与えたと思われる主要な介入方法は詳細に述べ、聴講者が追試を試みようとするときに役立つ情報を提供してください。プログラムの変更があった場合にはその理由を述べ、予期せぬ変化等についても記述してください。

【結果】(700 字以内で入力) 介入によって得られた評価指標(数値)の変化、あるいは作業療法の介入によって生じた対象者の生活(行動)上の変化などを具体的に記述してください。

【考察】(700 字以内で入力) 「結果」で述べた対象者の変化に関する解釈を記述してください。作業療法介入は対象者の標的問題にどのような変化(効果)をもたらしたのか、あるいはもたらさなかったのか、そしてそれらはどのような理由に依るものか等を利用した評価指標の変化との関連から考察してください。そして、今回実践した作業療法は、対象者の生活にどのような変化をもたらしたのか、対象者にとっての意味や価値という視点、活動や参加、生活の質といった視点についても可能な限り考察してください。

【参考、引用文献】(500 字以内入力)本文中で言及もしくは引用した文献とその箇所について記述してください。文献リストの表記の形式は日本作業療法士協会の「事例報告書作成の手引き」を参考に。

<お問い合わせ・報告書(抄録)添付先>

三島ブロック専用アドレス (mail) otr-3shima@hotmail.co.jp